

正誤表(新型コロナウイルス感染症等の新興感染症に関する取組)

| | |
|-------------|---|
| <p>正誤箇所</p> | <p>第2弾の①迅速検査機器開発(予備費)の額、迅速検査機器開発等の合計額及び第2弾の総額に該当する赤枠箇所</p> |
| <p>誤</p> | <p>第2弾 総額 31.1億円 うち予備費 3.1億円</p> <p>新興感染症流行に即刻対応できる研究開発プラットフォームの構築</p> <p>①病原体及び感染性臨床検体等の解析基盤の整備及び感染症分野の創薬基盤の充実(1,800百万) 全国数箇所において、既存のBSL3ユニットを改修・整備し、感染モデル動物を用いた研究開発等を取り組める体制を整備</p> <p>②感染症ゲノム解析・免疫レパトア解析及び統合型データ共有(200百万) COVID-19の患者検体のゲノム解析及び免疫学的解析を実施し、臨床・疫学等の情報と統合して利活用出来る基盤を構築</p> <p>③ファビピラビル(アビガン)臨床開発研究(350百万) 藤田医科大学 インフルエンザ治療薬(ファビピラビル(アビガン))について多施設での臨床研究を実施</p> <p>④新興感染症に対する研究開発に係る新規技術基盤の開発(公募)(150百万) COVID-19等新興感染症に係る創薬等研究開発に求められる新たな技術基盤のシーズを広く公募</p> <p>3億円</p> <p>既存薬の治療効果確認</p> <p>厚労科研</p> <p>①既存の抗HIV薬等の治療効果及び安全性検討(300百万) 国際医療センター</p> <p>3.1億円</p> <p>迅速検査機器開発等</p> <p>①迅速検査機器開発(予備費)(310百万)産総研 15分程度で新型コロナウイルスを検出できる簡易検査機器等の開発 国立感染症研究所 科学技術振興機構</p> <p>②新たな迅速検出法の社会実証研究(2百万)神奈川県(県産総研・県衛研) スマートアンプ法を利用した新型コロナウイルスの迅速検出法・検出試薬の実証研究</p> |
| <p>正</p> | <p>第2弾 総額 31.2億円 うち予備費 3.1億円</p> <p>新興感染症流行に即刻対応できる研究開発プラットフォームの構築</p> <p>①病原体及び感染性臨床検体等の解析基盤の整備及び感染症分野の創薬基盤の充実(1,800百万) 全国数箇所において、既存のBSL3ユニットを改修・整備し、感染モデル動物を用いた研究開発等を取り組める体制を整備</p> <p>②感染症ゲノム解析・免疫レパトア解析及び統合型データ共有(200百万) COVID-19の患者検体のゲノム解析及び免疫学的解析を実施し、臨床・疫学等の情報と統合して利活用出来る基盤を構築</p> <p>③ファビピラビル(アビガン)臨床開発研究(350百万) 藤田医科大学 インフルエンザ治療薬(ファビピラビル(アビガン))について多施設での臨床研究を実施</p> <p>④新興感染症に対する研究開発に係る新規技術基盤の開発(公募)(150百万) COVID-19等新興感染症に係る創薬等研究開発に求められる新たな技術基盤のシーズを広く公募</p> <p>3億円</p> <p>既存薬の治療効果確認</p> <p>厚労科研</p> <p>①既存の抗HIV薬等の治療効果及び安全性検討(300百万) 国際医療センター</p> <p>3.2億円</p> <p>迅速検査機器開発等</p> <p>①迅速検査機器開発(予備費)(313百万)産総研 15分程度で新型コロナウイルスを検出できる簡易検査機器等の開発 国立感染症研究所 科学技術振興機構</p> <p>②新たな迅速検出法の社会実証研究(2百万)神奈川県(県産総研・県衛研) スマートアンプ法を利用した新型コロナウイルスの迅速検出法・検出試薬の実証研究</p> |

問い合わせ先

内閣官房 健康・医療戦略室